2021年5月14日

各　位

会　社　名　株式会社フリークアウト・ホールディングス
代 表 者 名　代表取締役社長 Global CEO　本　田　　謙
（コード番号：6094　東証マザーズ）
問 合 せ 先　取　締　役　C　F　O　永井　秀輔
（ TEL. 03-6721-1740）

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○開催状況

開催日時 2021年5月14日 17:00－18:00

開催方法 対面による実開催

開催場所 東京都港区六本木６－３－１六本木ヒルズ クロスポイント

説明会資料名 2021年9月期 第2四半期決算説明資料

以上

株式会社フリークアウト・ホールディングス

（東証マザーズ：6094）

2021年9月期 第2四半期
決算説明資料

2021年5月14日

© FreakOut Holdings

Agenda

Section1　エグゼクティブサマリ

Section2　2021年9月期 第2四半期決算の概要

Section3　事業の進捗（広告事業）

Section4　事業の進捗（海外グループ事業）

© FreakOut Holdings

Section1 エグゼクティブサマリ

© FreakOut Holdings

2021年9月期 第2四半期 エグゼクティブサマリ

第2四半期は、季節変動の影響で海外事業が大きく落ち込む四半期であるものの、
売上高68.1億円、EBITDA3.1億円、その他段階損益も黒字で着地。
（営利1.1億円、経常5.1億円、最終利益2.0億円。予算を大幅超過）

中核事業である国内広告事業が大きく再成長。
売上高32億円（過去最高）、EBITDA3.5億円（過去最高水準）を達成。

海外事業では、広告閑散期の中でも、米国Playwireが売上高 23億円（前年同期比+97%）・
EBITDA1.7億円（前年同期比+108%）と想定を上回るペースで急成長を継続。

米国の証券市場では、昨年来Connected TVの分野を中心にアドテク領域が再評価。
当社は日本のConnected TVにおけるアドテク領域の第一人者として、
引き続き企業価値・株式価値の向上に努める。

© FreakOut Holdings

Section2 2021年9月期 第2四半期決算の概要

© FreakOut Holdings

2021年9月期 第2四半期 連結決算サマリ

連結売上高	**68.1億円**（前年Q比+6.5億円 / 直前Q比▲8.7億円） （前年Q比・直前Q比） ・（国内） 広告需要期であることに加えて、動画・Connected TV領域の事業を中心に順調に成長 ・（海外） 最も厳しい四半期であるが、米国Playwireが想定を大幅に超えて成長を継続
連結EBITDA	**3.1億円**（前年Q比+1.9億円 / 直前Q比▲2.3億円） （前年Q比・直前Q比） ・上記に加えて、IRISの収益性が回復し、持分法投資利益がプラス（0.7億円）
連結経常利益	**5.1億円**（前年Q比+5.7億円 / 直前Q比+1.7億円） （前年Q比・直前Q比） ・EBITDAと同様の要因に加え、為替差益（3.2億円）等が発生

- 営業利益：**1.1億円**
- 親会社株主に帰属する当期純利益：**2.0億円**

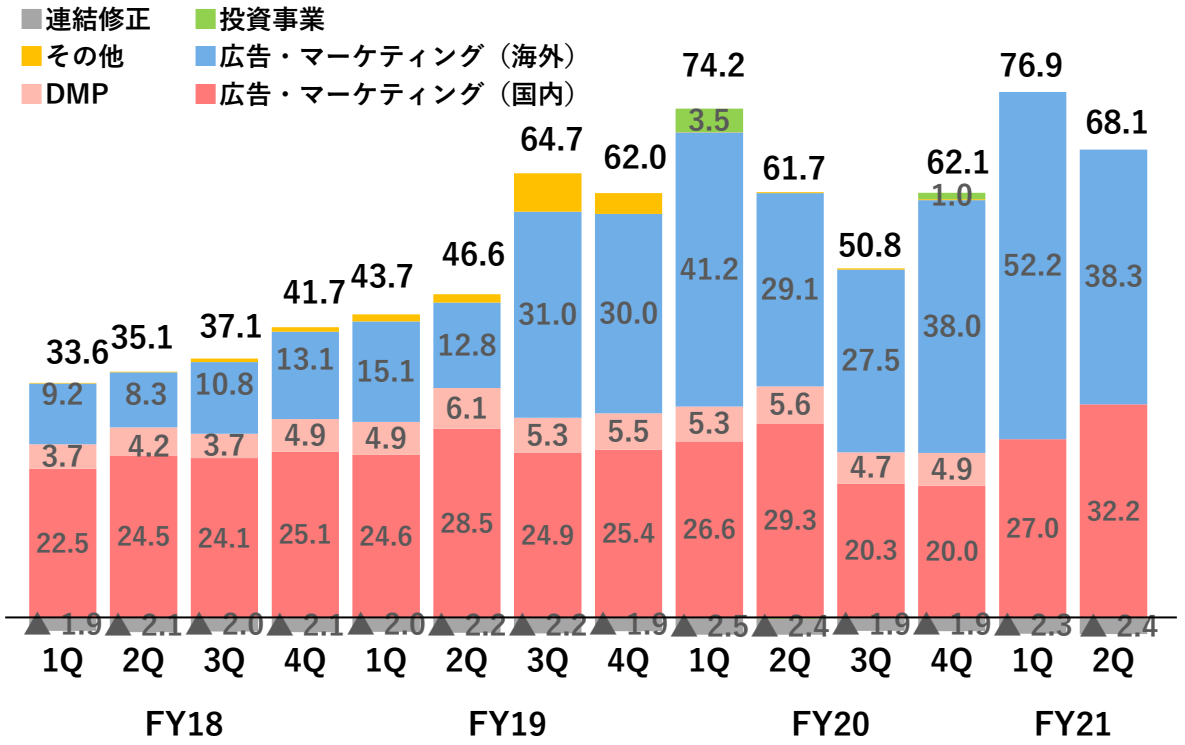
© FreakOut Holdings

連結売上高およびEBITDA推移

- [国内] 中核子会社フリークアウトが 動画・Connected TV領域を中心に成長（過去最高売上）
- [海外] 季節変動があるものの、前年同期比では大幅成長
- [IRIS] 新型コロナウイルスの影響から回復し、黒字に回帰

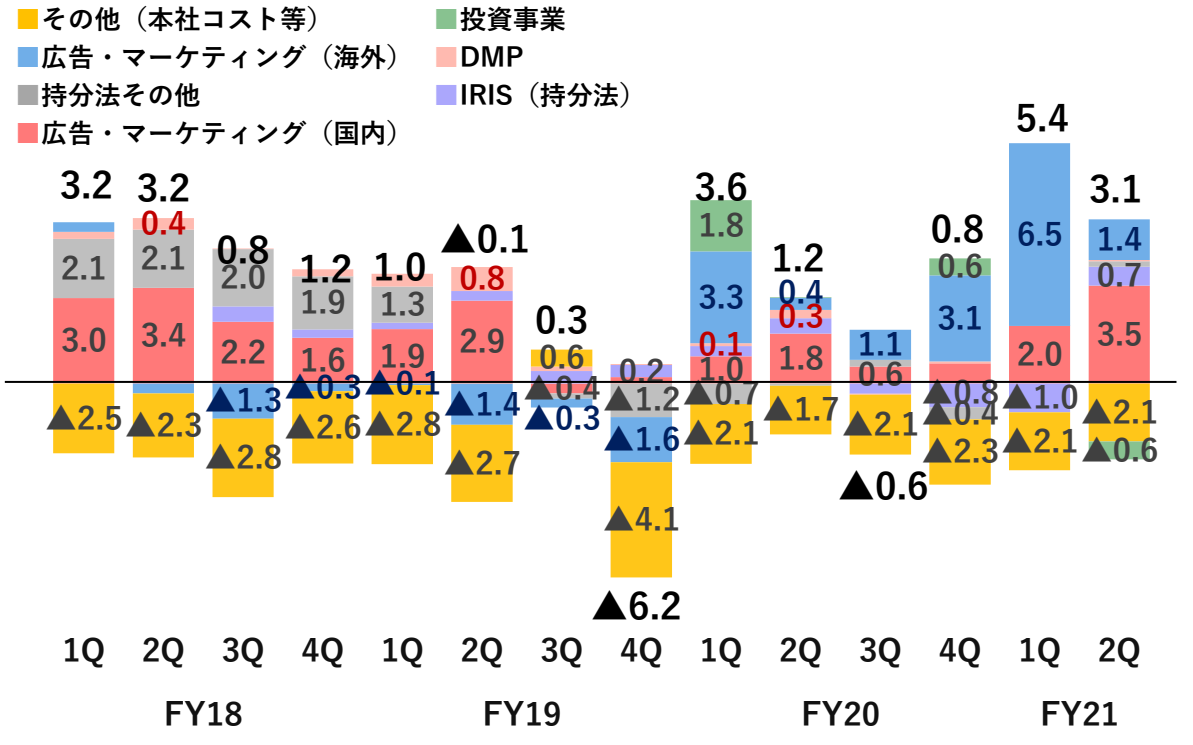
売上

単位:億円



EBITDA

単位:億円



社内予算対比での第2四半期進捗について

- 第1四半期に引き続き、予算を大幅に超過して極めて順調に進捗
- 一方で、 プライバシー関連の問題や新型コロナウイルスの投資事業への影響、為替の動向など不透明な要素が少なくないことに鑑み、通期業績予想は据え置く

単位:億円

	2Q単体			上期			（参考）通期	
	当初予算	実績	差異	当初予算	実績	差異	当初予算	進捗率
売上高	60.1	68.1	+8.0	130.1	145.0	+14.9	270.0	54%
EBITDA	▲0.3	3.1	+3.4	2.2	8.6	+6.3	6.0	143%
営業利益	▲1.1	1.1	+2.2	0.9	6.5	+5.7	2.0	328%
経常利益	▲1.8	5.1	+6.9	▲0.4	8.5	+8.8	1.0	869%
最終利益	非開示	2.0	-	非開示	8.2	-	非開示	-

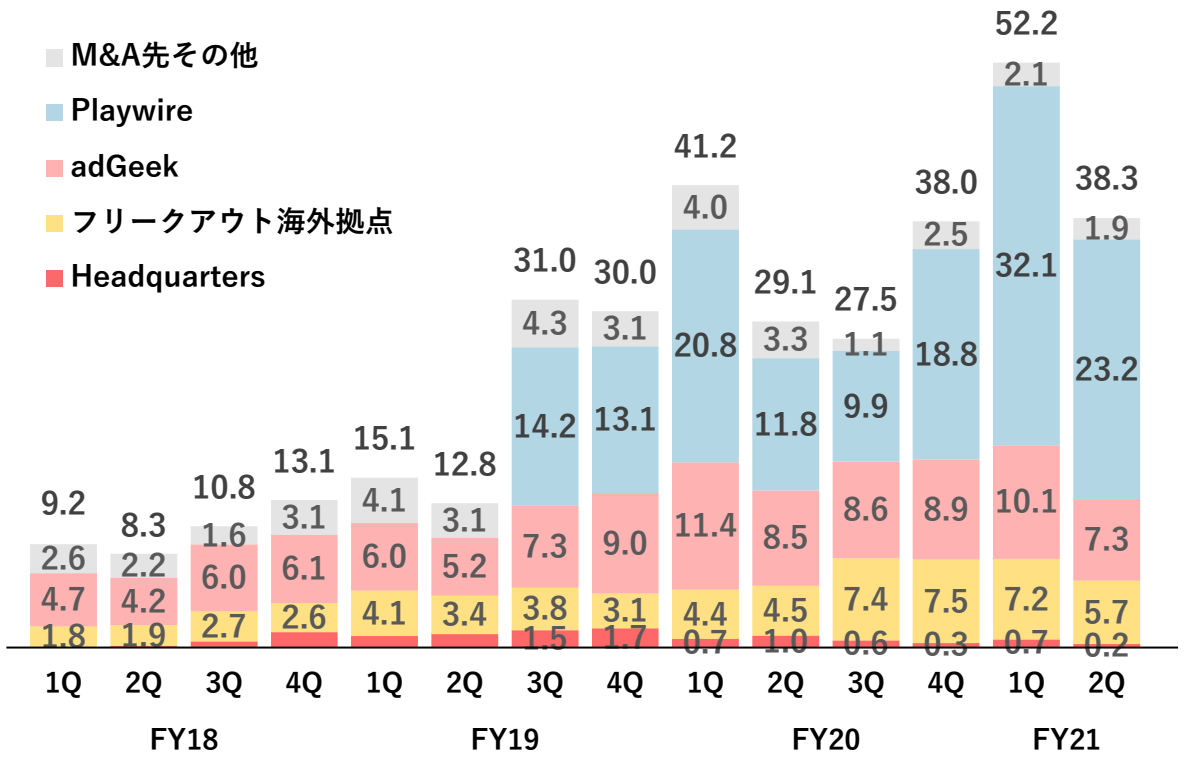
© FreakOut Holdings

海外事業 売上・EBITDA内訳

- 米国Playwireは売上・EBITDAともに前年同期比で大幅成長
- フリークアウト海外拠点は広告需要期の反動や春節の影響でEBITDAが赤字
- タイ現地法人の撤退を意思決定。今後、タイ市場はDigitiv/Dot GFにリソース集中。

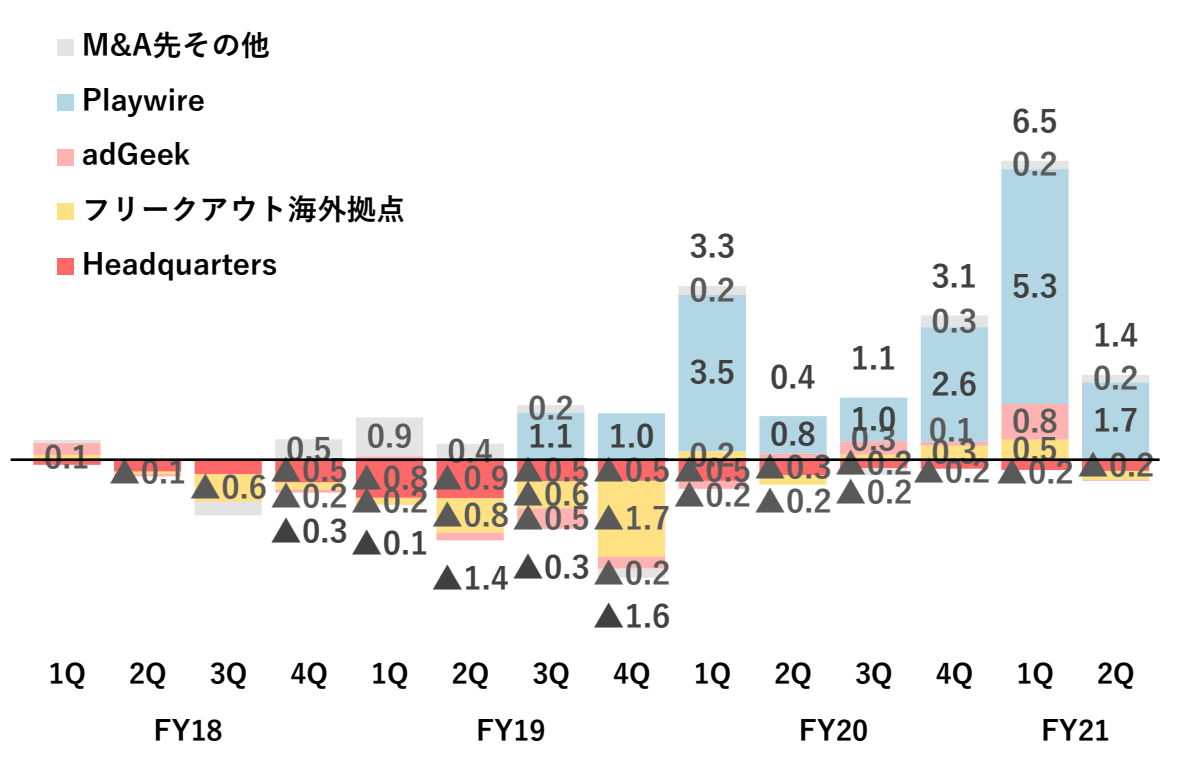
売上

単位:億円



EBITDA

単位:億円



© FreakOut Holdings

各段階利益 推移

単位:百万円

	FY20				FY21	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業利益	302	▲33	▲157	99	545	**109**
持分法投資利益	▲36	51	▲14	▲141	▲96	103
のれん償却費	42	41	43	39	33	34
減価償却費	56	65	65	88	63	67
EBITDA	364	125	▲62	85	544	**313**
のれん償却費	▲42	▲41	▲43	▲39	▲33	▲34
減価償却費	▲56	▲65	▲65	▲88	▲63	▲67
その他（為替差損益等）	62	▲80	▲171	▲104	▲110	299
経常利益	329	▲62	▲341	▲146	338	**510**

© FreakOut Holdings

2021年9月期 第2四半期 特別損益内訳

単位:億円

合計	**▲ 1.2**
特別利益	**2.8**
持分変動利益	2.5
その他	0.3
特別損失	**▲ 4.0**
IM株式売却に係るデリバティブ損失	▲ 1.3
有価証券減損	▲ 1.7
タイ法人清算損失引当金	▲ 0.6
その他	▲ 0.3

※IM社＝インティメート・マージャー社

MSワラント及び新株予約権付社債の行使（転換）状況

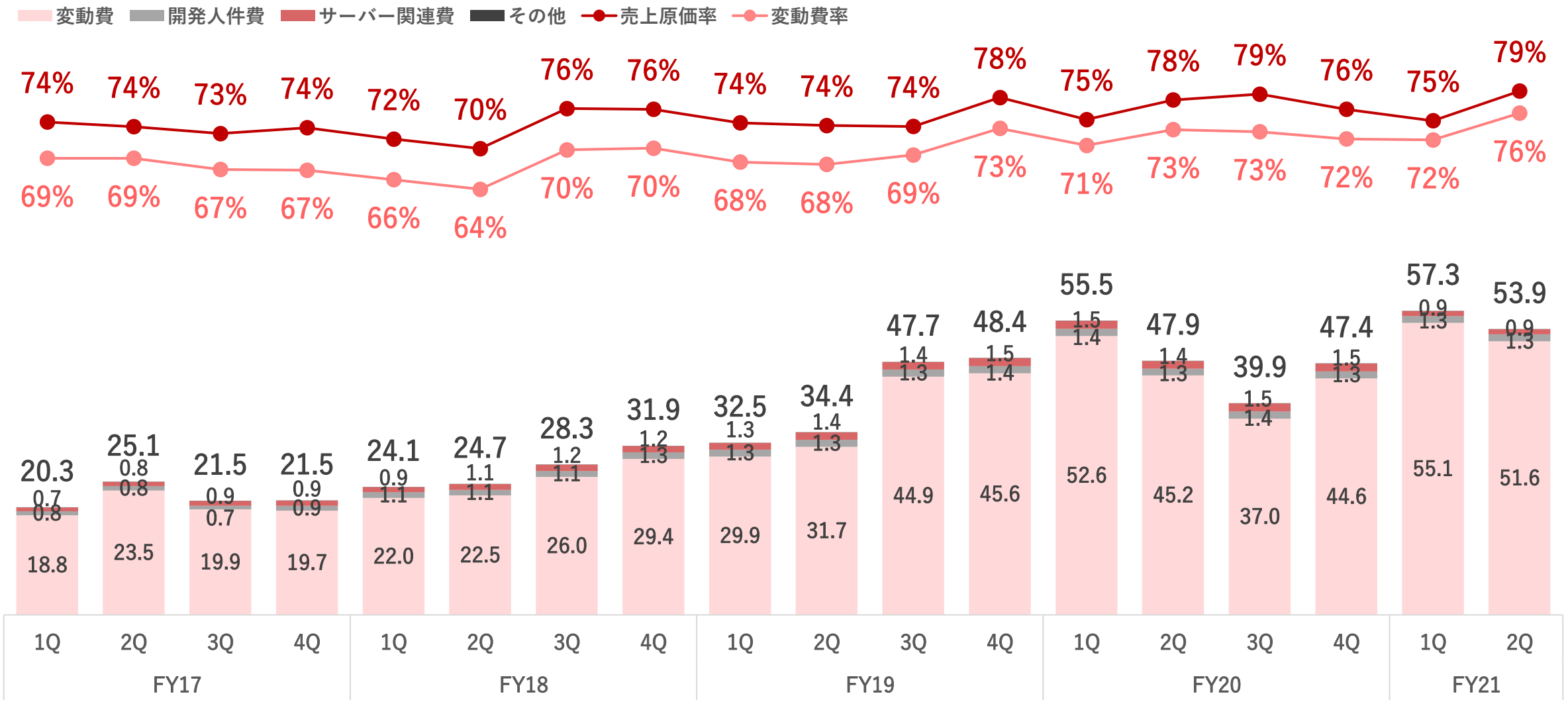
	①MSワラント （第10回新株予約権）	②第2回 新株予約権付社債	③第3回 新株予約権付社債
調達金額	9.1億円	15.3億円	15億円
潜在株式数	971,400株	1,117,734株	957,854株
当初行使/転換価格	ー	1,342円	1,566円
行使状況	完了	1個/30個 完了	2022年7月に繰上償還可能

- 2020年6月に発行したMSワラント及び新株予約権付社債のうち、①MSワラントについては行使完了
- ②第2回新株予約権付社債については転換が随時進行中
- ③第3回新株予約権付社債については、有価証券売却益等を原資に2022年7月の転換開始前に繰上償還を予定

© FreakOut Holdings

連結売上原価の推移

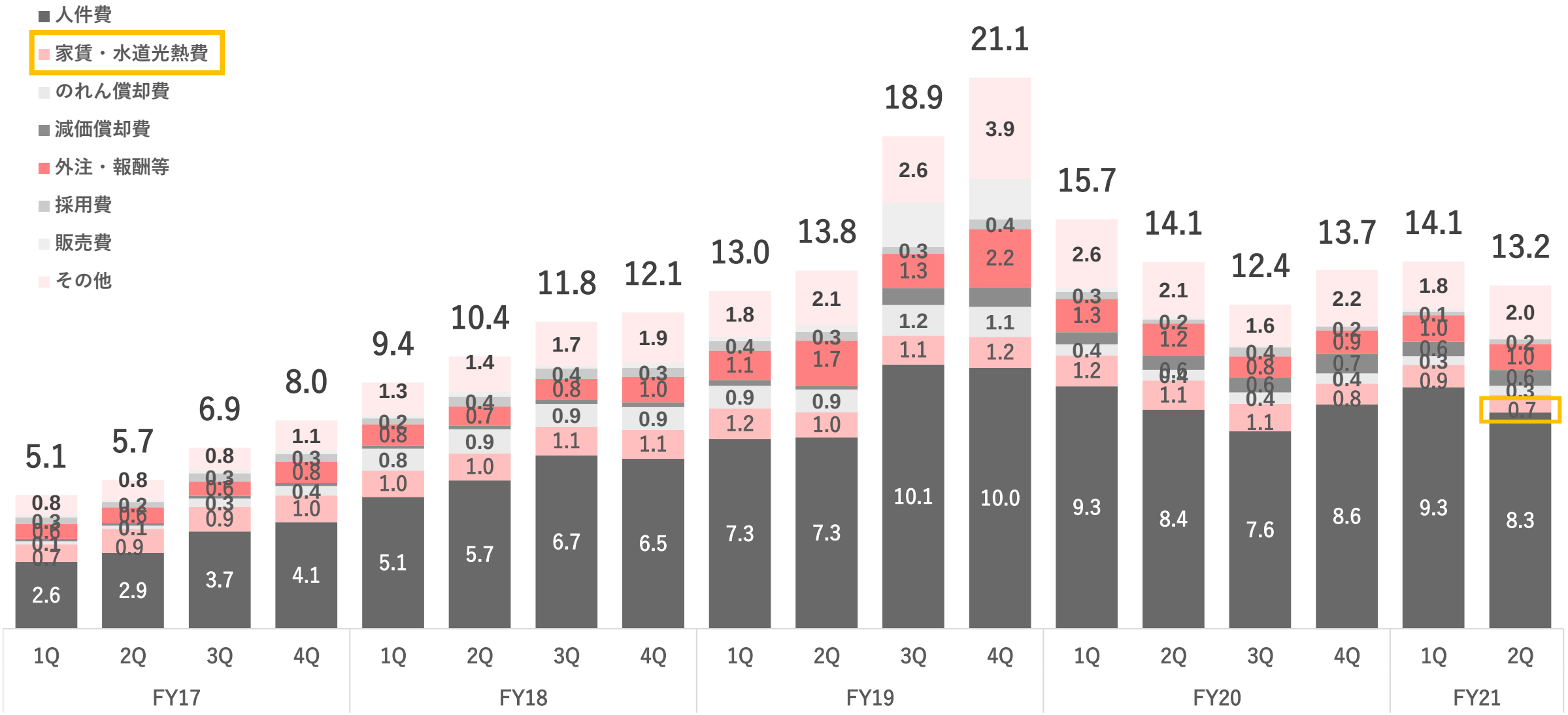
単位:億円



© FreakOut Holdings

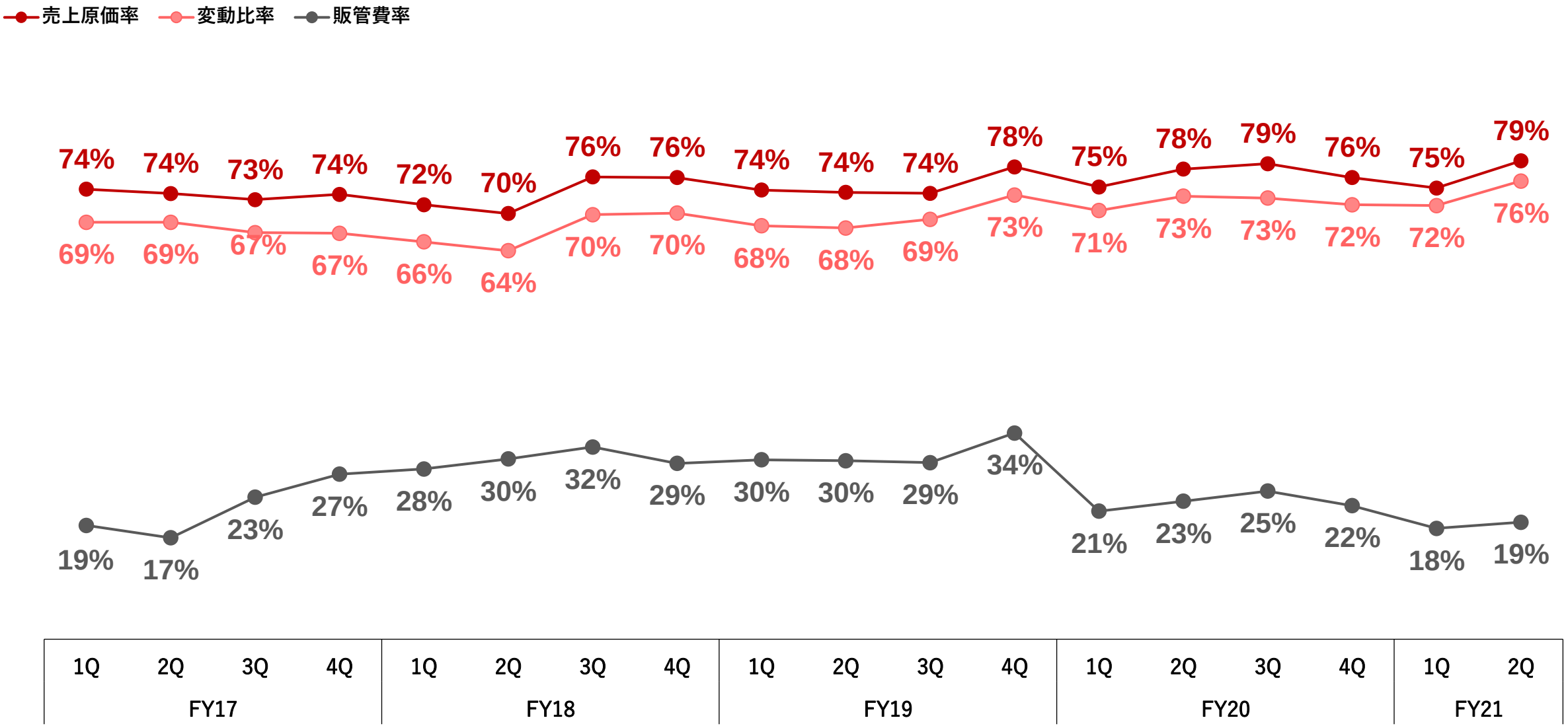
連結販売管理費の推移

単位:億円



※２Qより、オフィスフロアの一部返還によるコスト削減効果が発生。

【参考情報】連結原価率・連結販管費率の推移



© FreakOut Holdings

【参考情報】人員数推移（連結）

単位:人

	FY20 1Q	FY20 2Q	FY20 3Q	FY20 4Q	FY21 1Q	FY21 2Q
国内広告事業	169	167	169	167	155	**163**
DMP	43	39	39	42	–	–
フリークアウト海外拠点	90	91	92	93	94	**93**
海外グループ会社	321	248	229	226	203	**206**
その他	31	31	46	42	44	**38**
グループ合計	654	576	575	570	496	**500**

※インティメート・マージャー および Thrive（インドネシア） の連結除外により減少。

© FreakOut Holdings

2021年9月期 上期（累計） 連結決算サマリ

連結売上高	**145.0億円**（前年比+9.1億円 +6.7%） （前年比） ・上期過去最高売上を達成。 ・今期連結から外れた子会社及び投資事業の影響を除外した場合、19.3%成長
連結EBITDA	**8.6億円**（前年比+3.7億円 +75.3%） （前年比） ・新型コロナウイルスの影響から回復し、コロナ前の水準より大幅に増益 ・同上の影響を除外した場合、244.3%成長
連結経常利益	**8.5億円**（前年比+5.8億円 +218.0%） （前年比） ・EBITDAと同様の要因に加え、為替影響等で増益

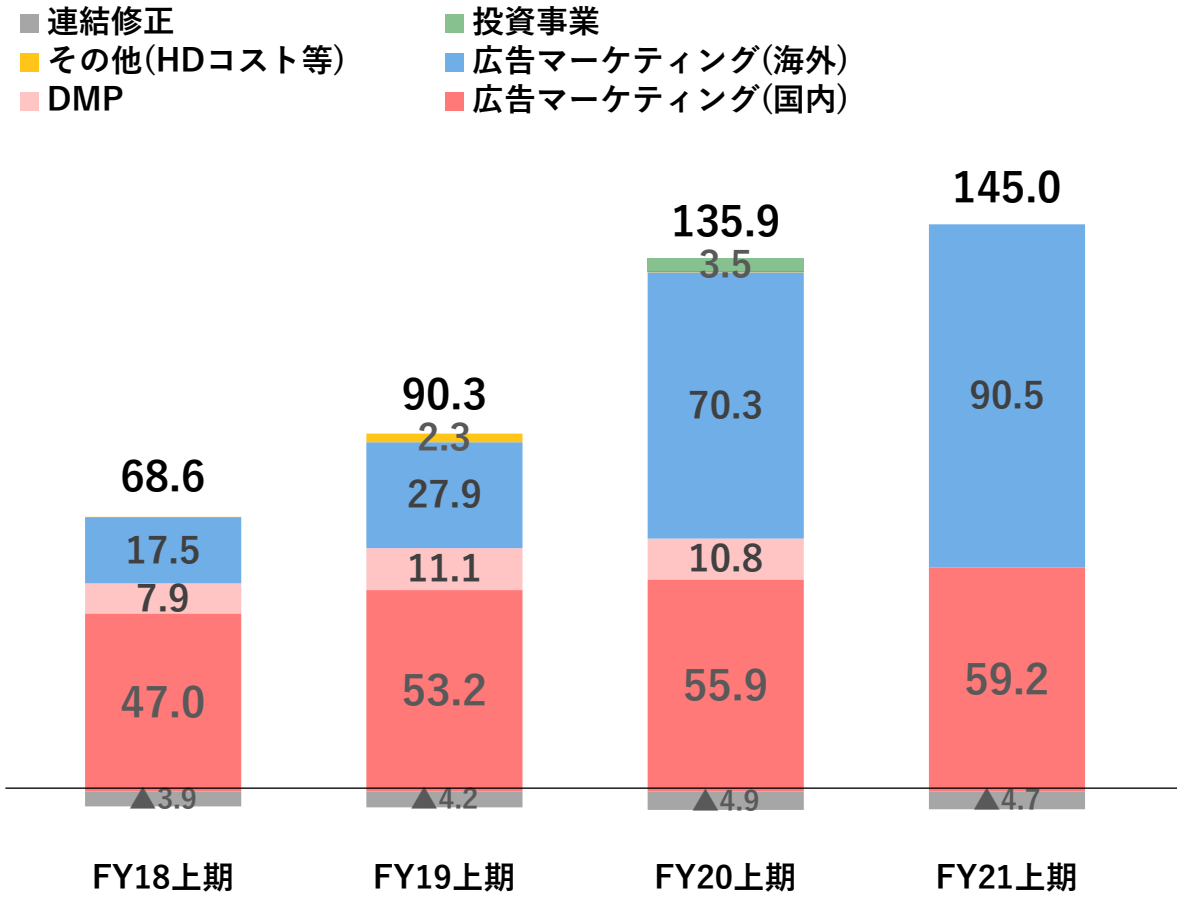
- 営業利益：**6.5億円**
- 親会社株主に帰属する当期純利益：**8.2億円**

© FreakOut Holdings

2021年9月期 上期（累計）連結売上高及びEBITDA推移

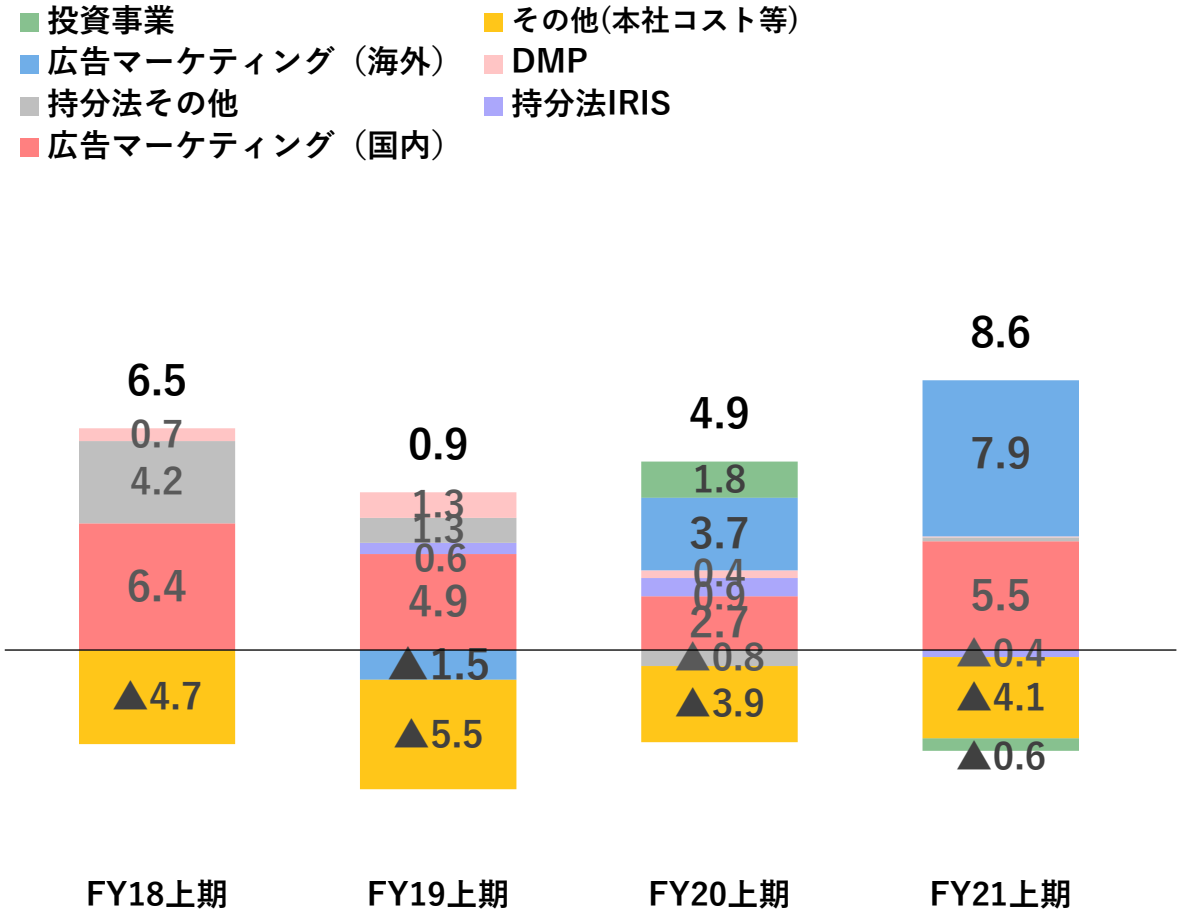
売上

単位:億円



EBITDA

単位:億円

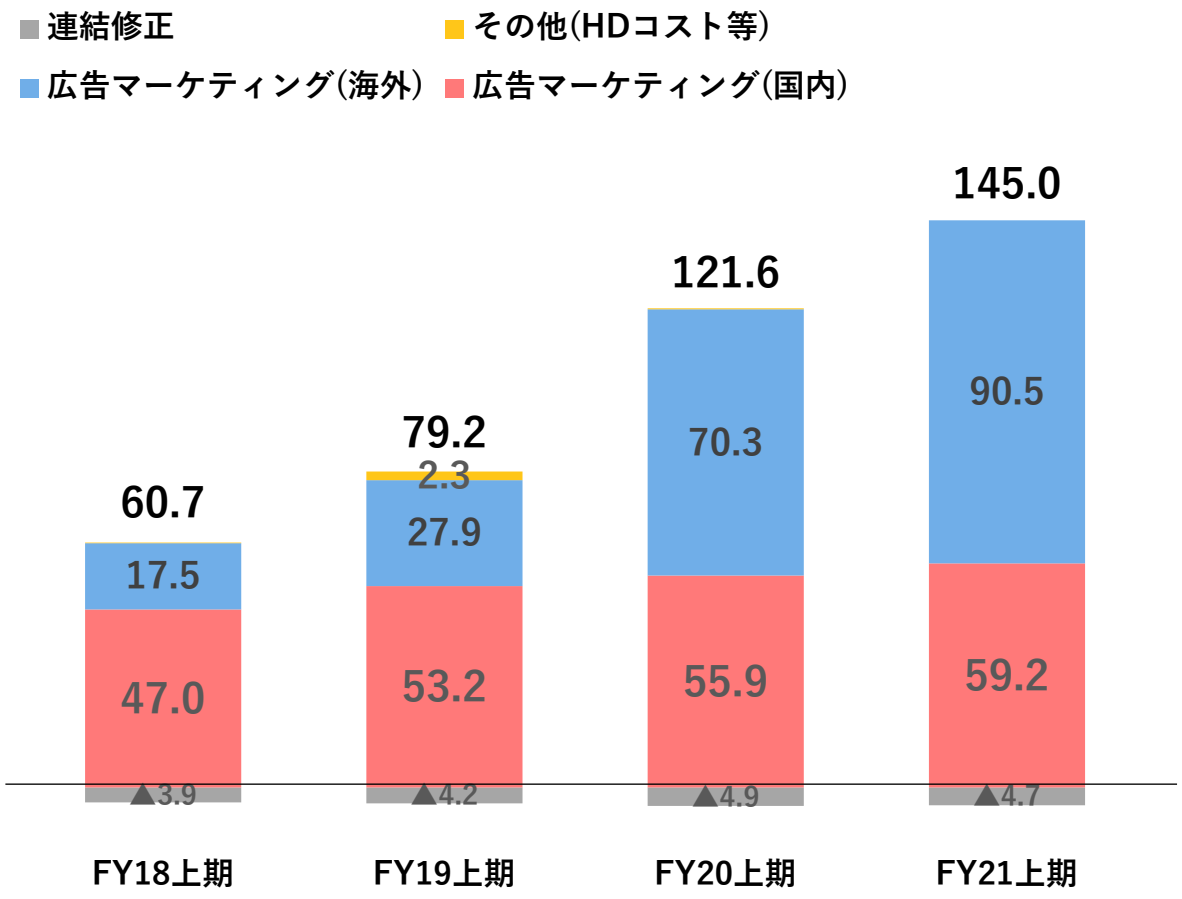


© FreakOut Holdings

（参考）IM社及び投資事業の影響を除外した推移

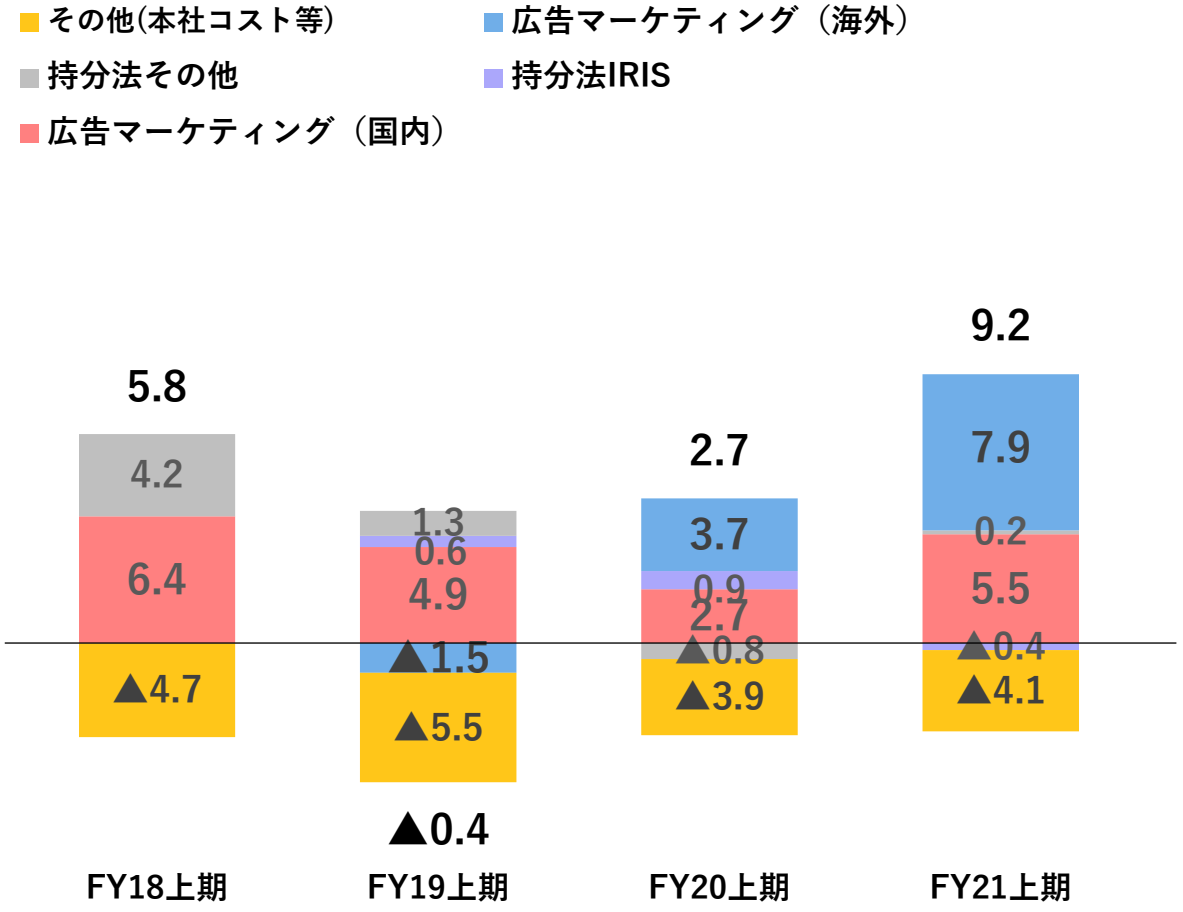
売上

単位:億円



EBITDA

単位:億円



© FreakOut Holdings

Section3 事業の進捗（広告事業）

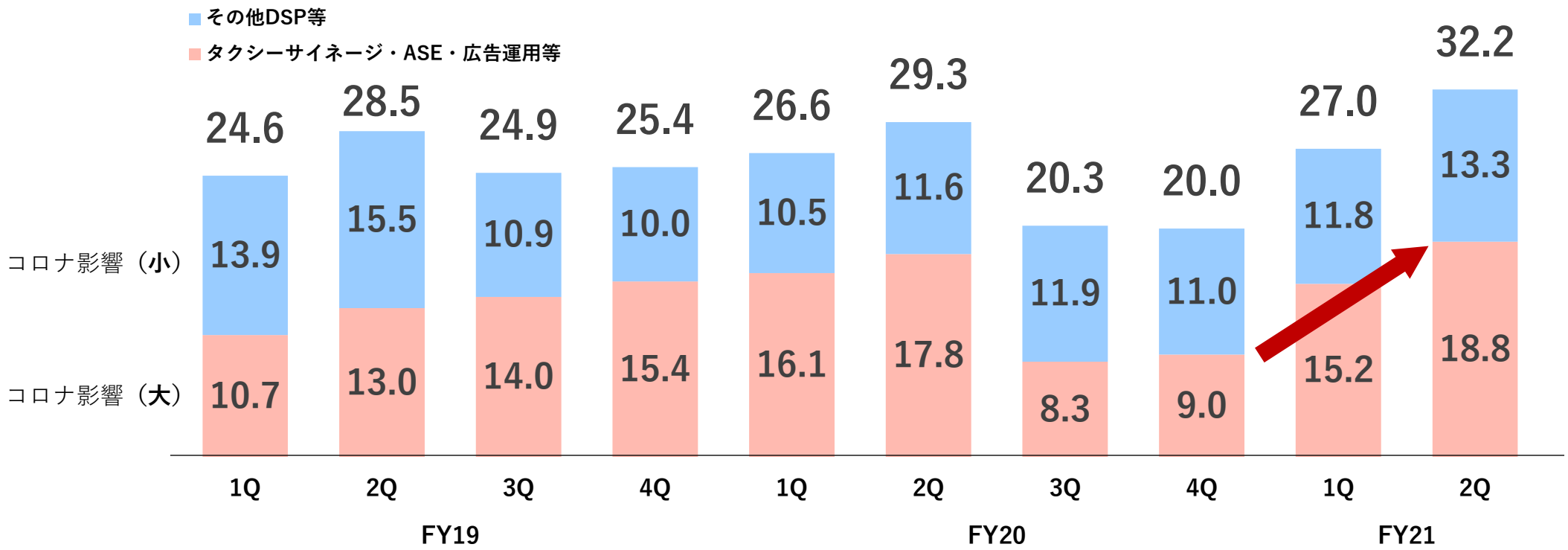
© FreakOut Holdings

国内広告事業の回復・再成長

- 新型コロナウイルスの影響から脱し、過去最高の売上高を達成。
- 特に影響が大きかった タクシーサイネージ 及び 位置情報マーケティングプラットフォーム（ASE）も過去最大の売上規模に。

広告・マーケティング（国内）売上

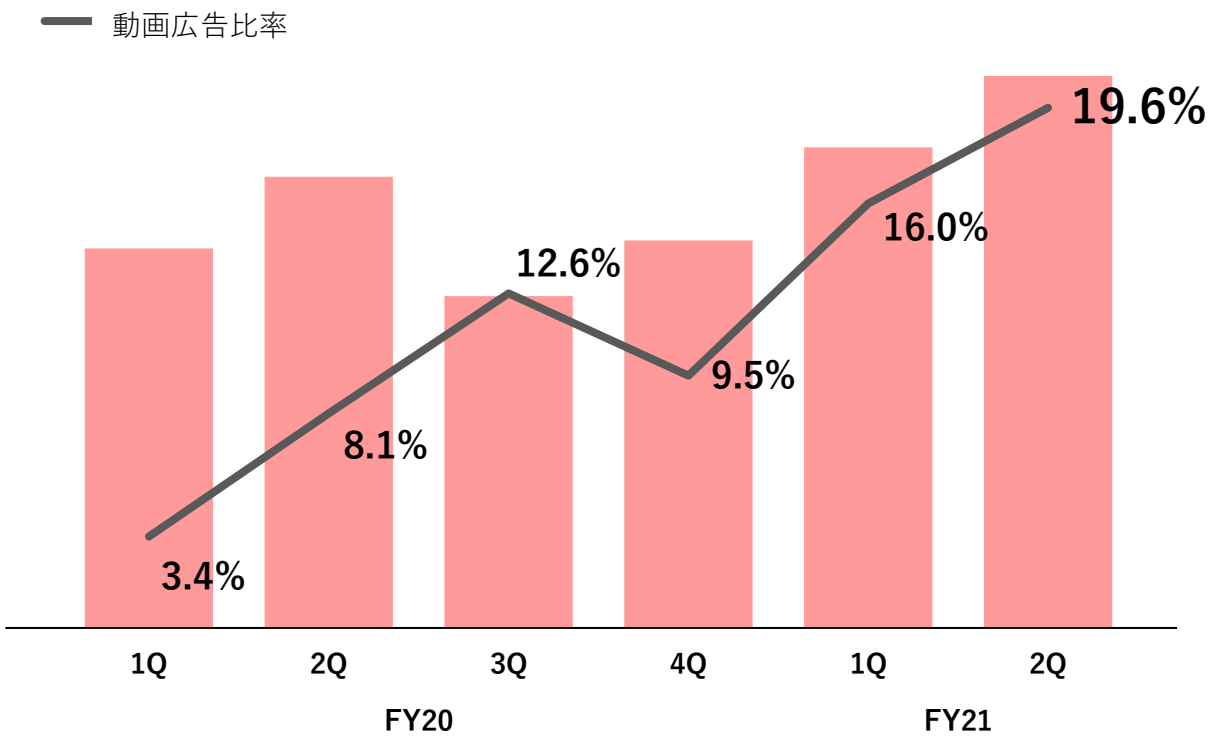
単位:億円



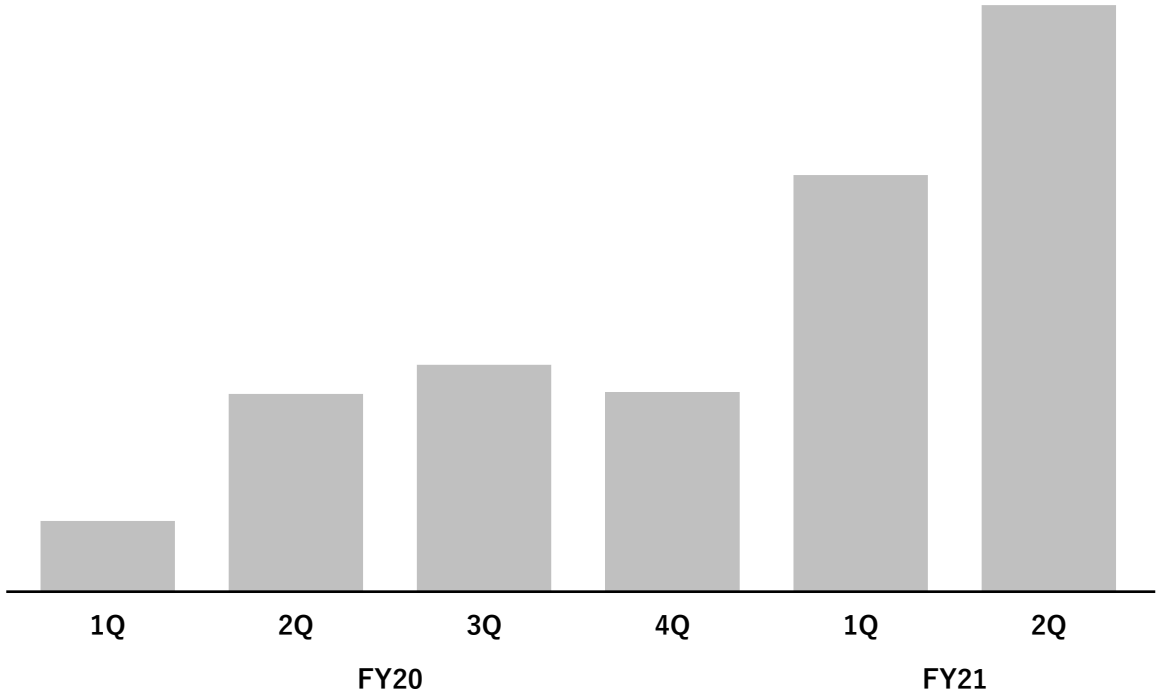
国内広告事業の回復・再成長（DSP・動画・Connected TV）

- DSP売上は動画・Connected TV領域の成長にともない、前年同期比122%の成長。
- 前四半期に急伸した動画広告比率も約20%と引き続き伸長し、収益に大きく貢献。

DSP売上



DSP動画・Connected TV広告売上



© FreakOut Holdings

ターゲティングに強く依拠しないビジネスモデルの強化

- 優良メディアにおける1st party data活用で広告配信を強化。
- Unified ID ２.0への参加。他のソリューション・技術も随時対応を検討。

メディア 1st party data の活用

優良媒体社様での1st party data活用
によるターゲティング

Red for Publishers

ID対応

消費者のプライバシー保護に配慮した
Unified ID ２.0を対応予定

Unified ID 2.0

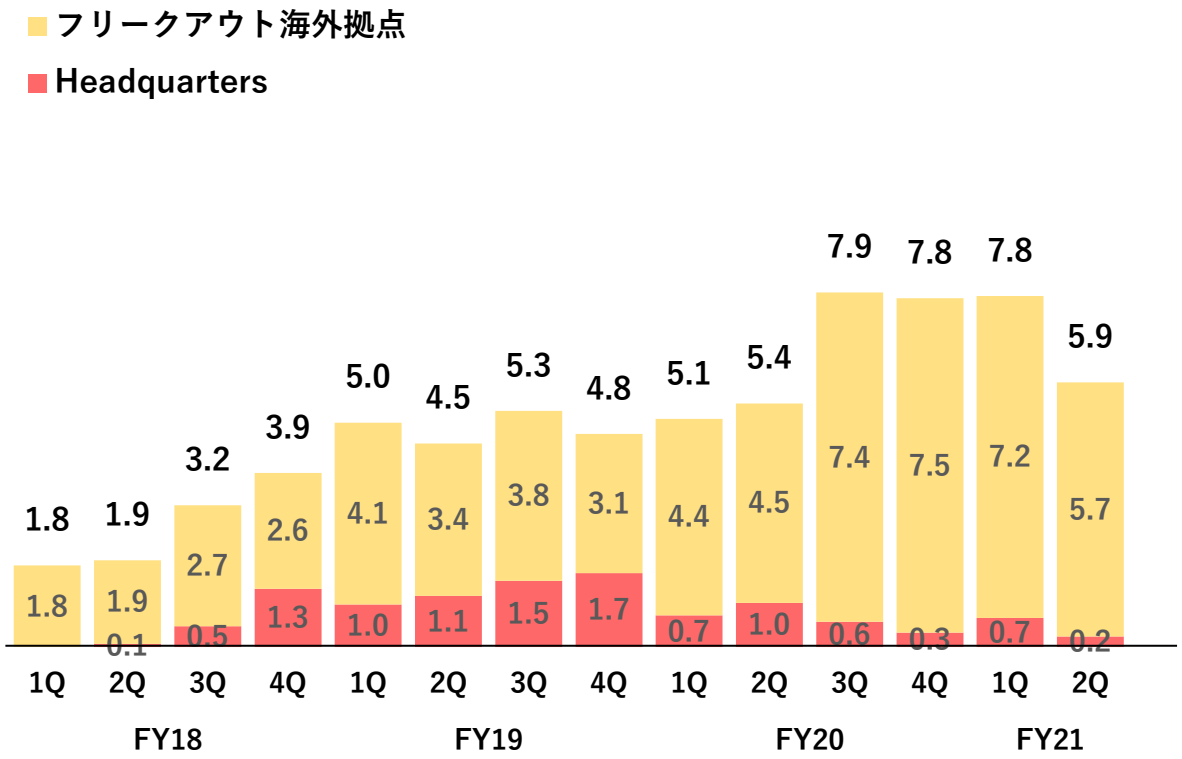
© FreakOut Holdings

フリークアウト海外拠点実績

- 売上は前年同期比で110%成長するも、広告閑散期のためEBITDA赤字で着地。
- 中国、台湾、マレーシアは好調に推移するも、新型コロナの影響でインドネシアが苦戦。
- タイは収益貢献が困難と判断し撤退を決定。今後、タイ市場はDigitiv/Dot GFにリソース集中。

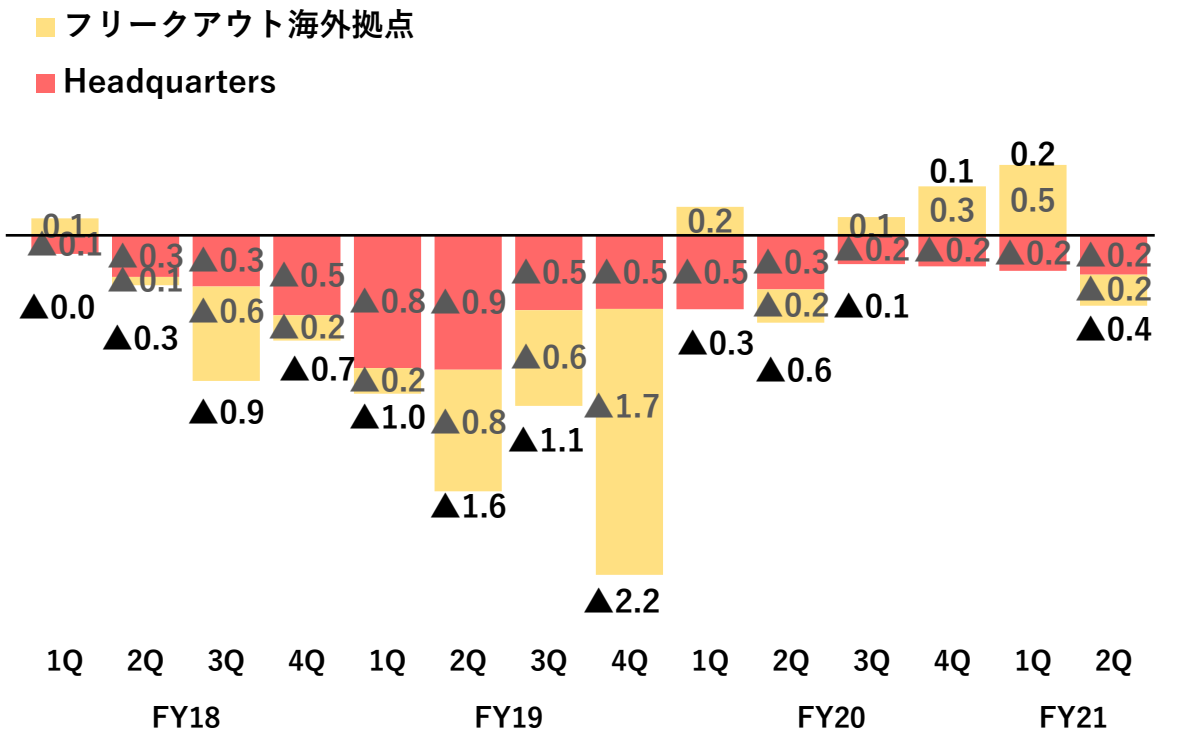
売上

単位:億円



EBITDA

単位:億円

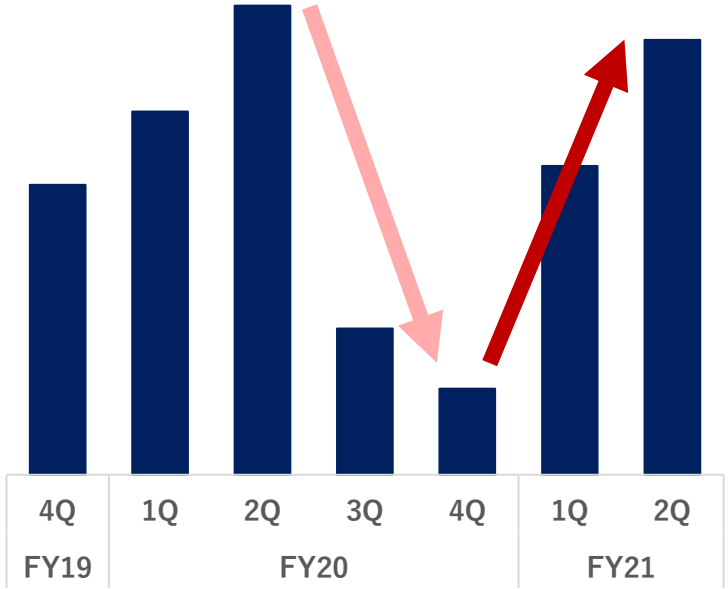


© FreakOut Holdings

タクシーサイネージ事業（IRIS）の回復・再成長

- 3月は過去最高の売上・利益を達成。四半期ベースでは概ねコロナ以前の水準まで回復。
- 日本気象協会と共同で、気象情報コンテンツと連携した新広告メニューの提供を開始。
- TVアニメ『オッドタクシー』とコラボしたシートベルト啓蒙動画の放映開始。

IRIS売上推移



気象情報と連携した新広告メニュー

『オッドタクシー』とコラボしたシートベルト啓蒙動画

※IRIS社媒体資料より抜粋

© FreakOut Holdings

Section4 事業の進捗（海外グループ事業）

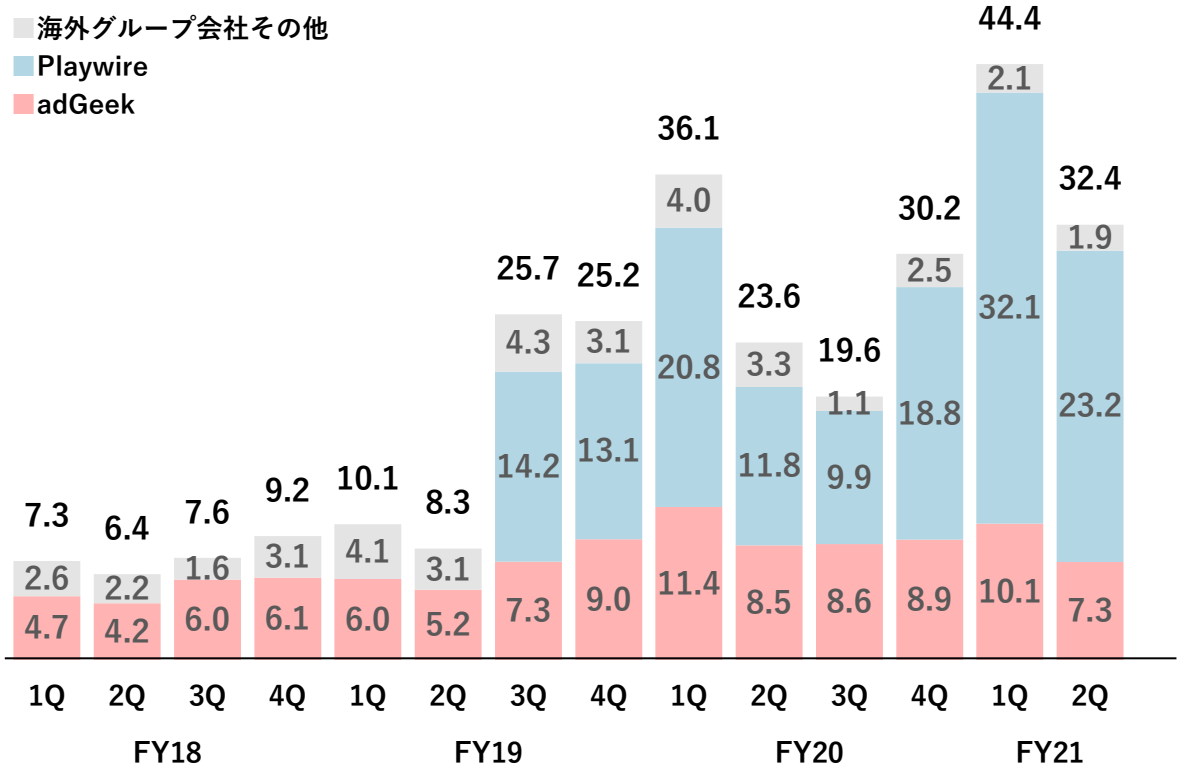
© FreakOut Holdings

海外グループ事業 売上・EBITDA 内訳

- [米国] Playwire好調で計画を上回る売上・EBITDA。人員体制強化も順調に進捗。
- [APAC] 売上・EBITDAともほぼ計画通り。（第２四半期は広告閑散期）

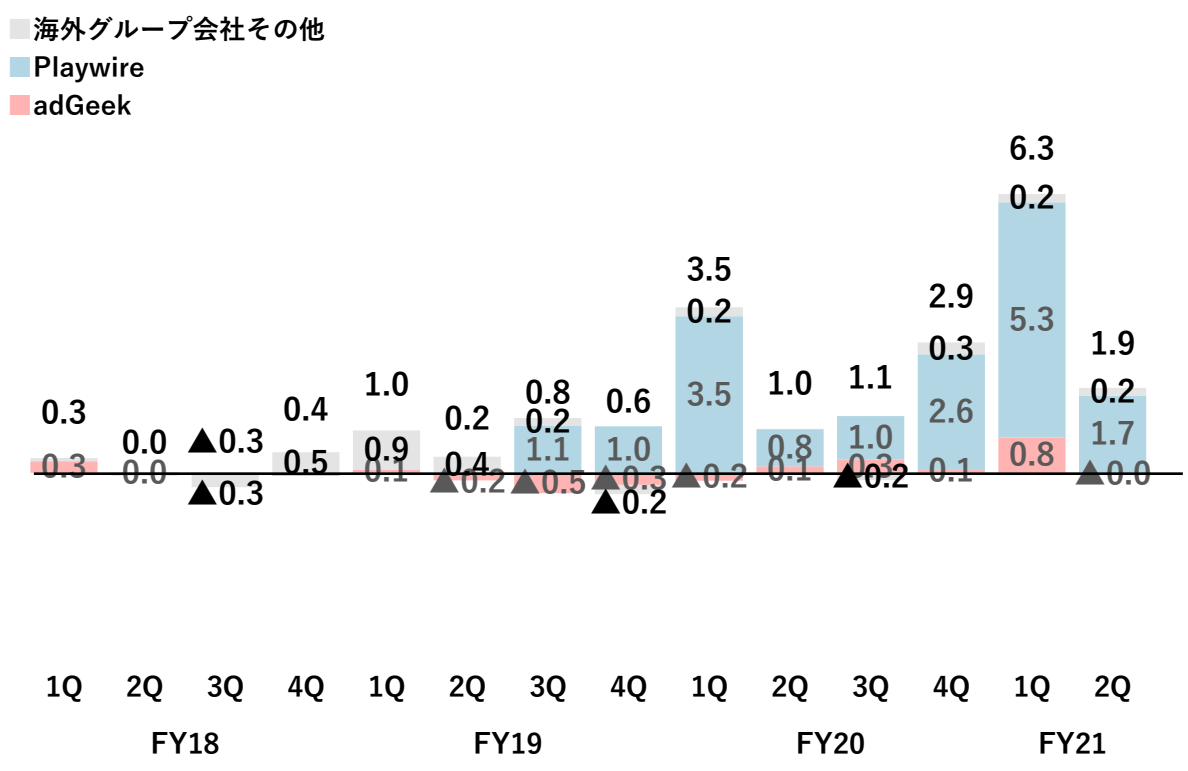
売上

単位:億円



EBITDA

単位:億円

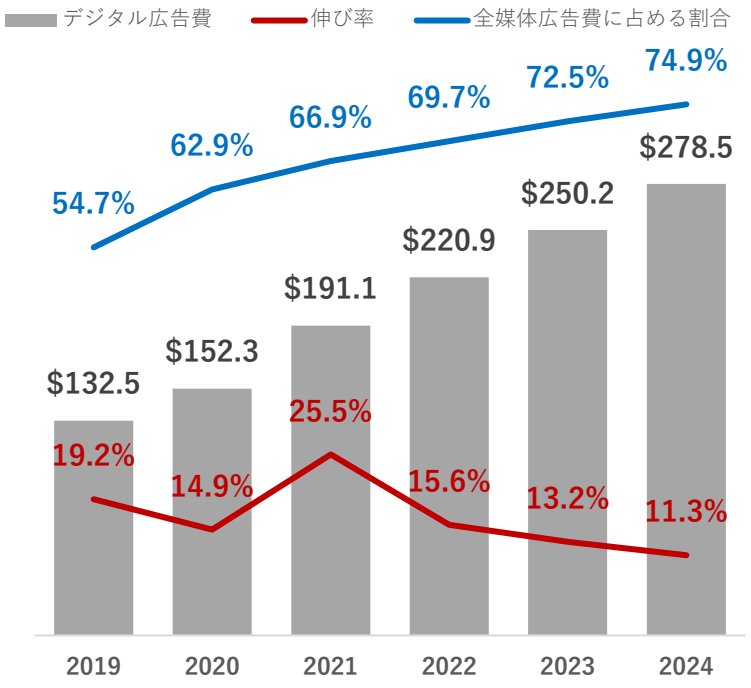


© FreakOut Holdings

米国におけるアドテク領域の成長と再評価

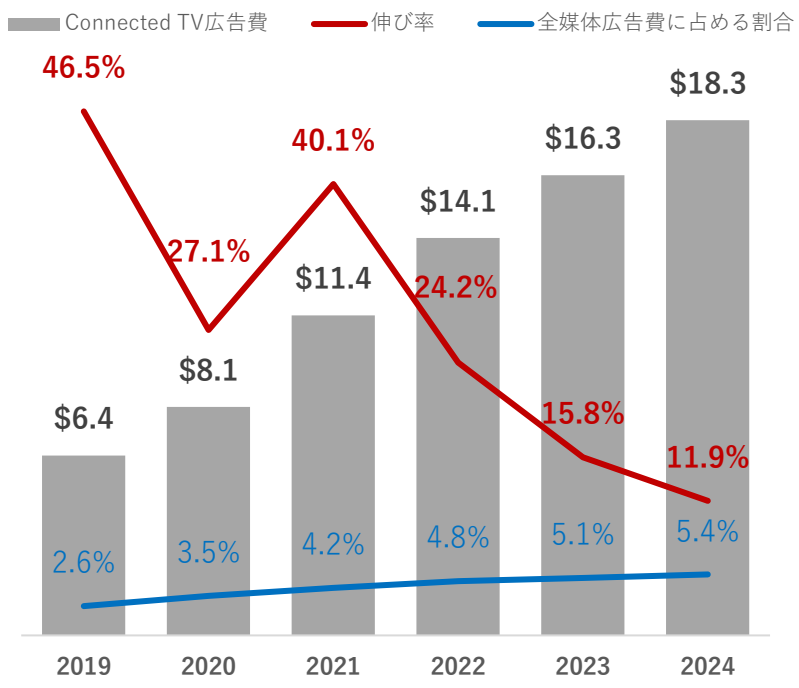
- 米国におけるデジタル広告は全広告媒体支出の6割を超え、更に高成長を持続（21年は25%成長）
- 従来型TVからのシフトでConnected TV広告が大きく成長
- 米国アドテク企業の評価上昇（同分野の上場企業時価総額が高騰。IPOやM&Aも活発に）

米国 デジタル広告費 (2019-2024)
(単位: 10億ドル)



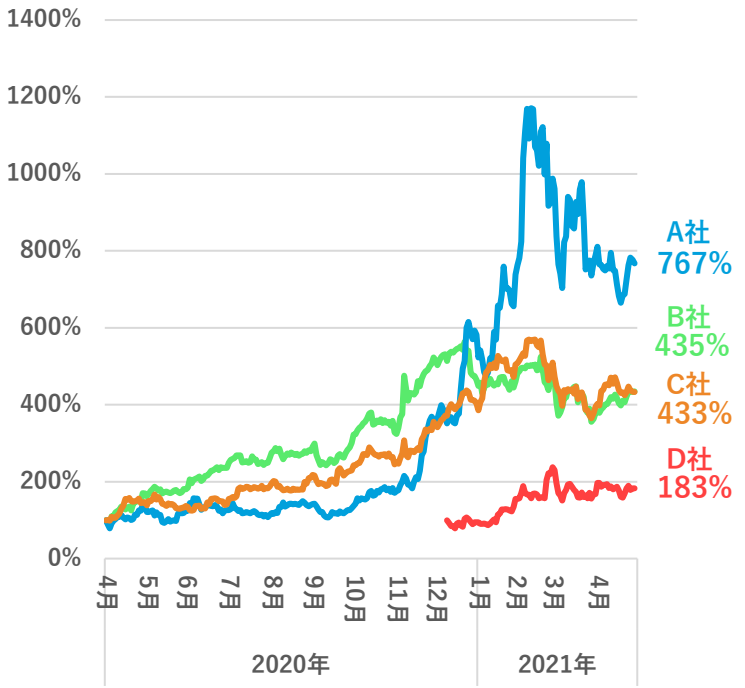
出所: eMarketer / Insider Intelligence, US Digital Ad Spending 2021 report

米国 Connected TV広告費 (2019-2024)
(単位: 10億ドル)



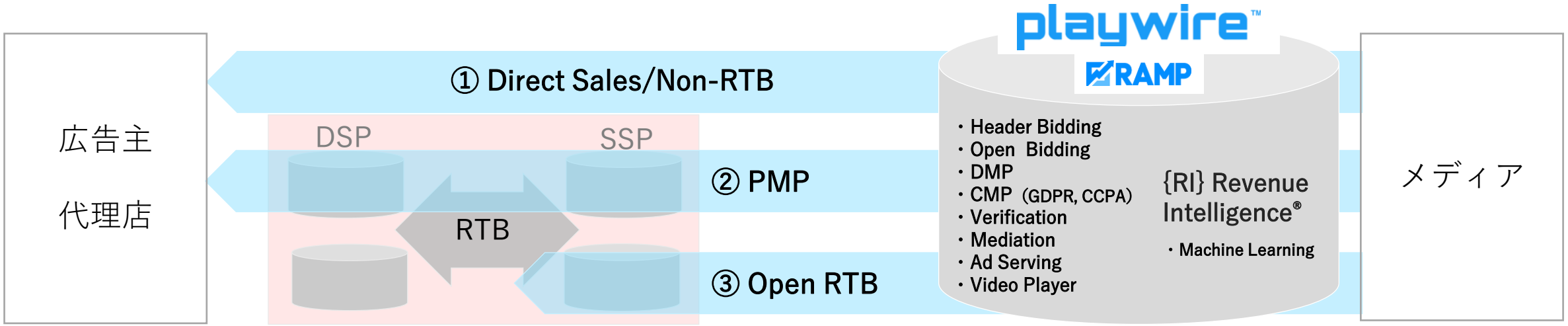
出所: eMarketer, US Connected TV Advertising 2021 report

米国アドテク上場企業 株価上昇率
（2020年4月1日を分母に計算）



Playwire 事業内容

- 複雑化するデジタル広告技術/機能を一元的にプラットフォームとして提供。デジタルメディアの広告収益最大化を支援。
- 機械学習による予測＋人間の洞察力で広告収益を最適化する独自技術「Revenue Intelligence®」を活用。純広告とプログラマティック広告を組み合わせ、収益を最大化。



取引種別		在庫特性	単価	競争優位性
①	Direct Sales/Non-RTB	Premium	$$$	優良な広告主や代理店への営業力。ビジネス開拓による優良なメディアの独占在庫。
②	PMP（Private Market Place）	Premium	$$$	プログラマティックに精通した高度なセールス/オペレーションスキル。優良な独占在庫。
③	Open RTB	Large Amount	$	20社以上のSSPを最適化させるソフトウェア開発及び運用能力。

© FreakOut Holdings

Playwire 動画広告での強み

- **動画技術に関する長年の経験とノウハウ。独自の動画関連ソリューションを提供（動画運用プラットフォーム （OVP） 、文脈に合うオリジナル動画を提供する「Trendi」等）。**
- **動画広告売上比率は約40%**（米国の動画広告市場はデジタル広告市場全体の約20%）。
  拡大を続けるOTT/Connected TV分野にも積極的に取り組み中。

Online Video Platform（OVP）

動画コンテンツをアップロード、管理、広告収益化するフル機能のオンラインビデオプラットフォーム。Playwireの高度なビデオプレーヤーを使用して、ビデオコンテンツをサイトに埋め込み動画広告収益をもたらす。

Trendi

trendi™
Powered by Playwire™

Trendiは視認性の高い動画を簡単に追加でき、収益を増やせる独自ツール。
Playwireのビデオ制作チームが、テーマに沿うビデオコンテンツを毎日更新。メディア内の静止画やテキストからスライド動画を自動生成することも可能。

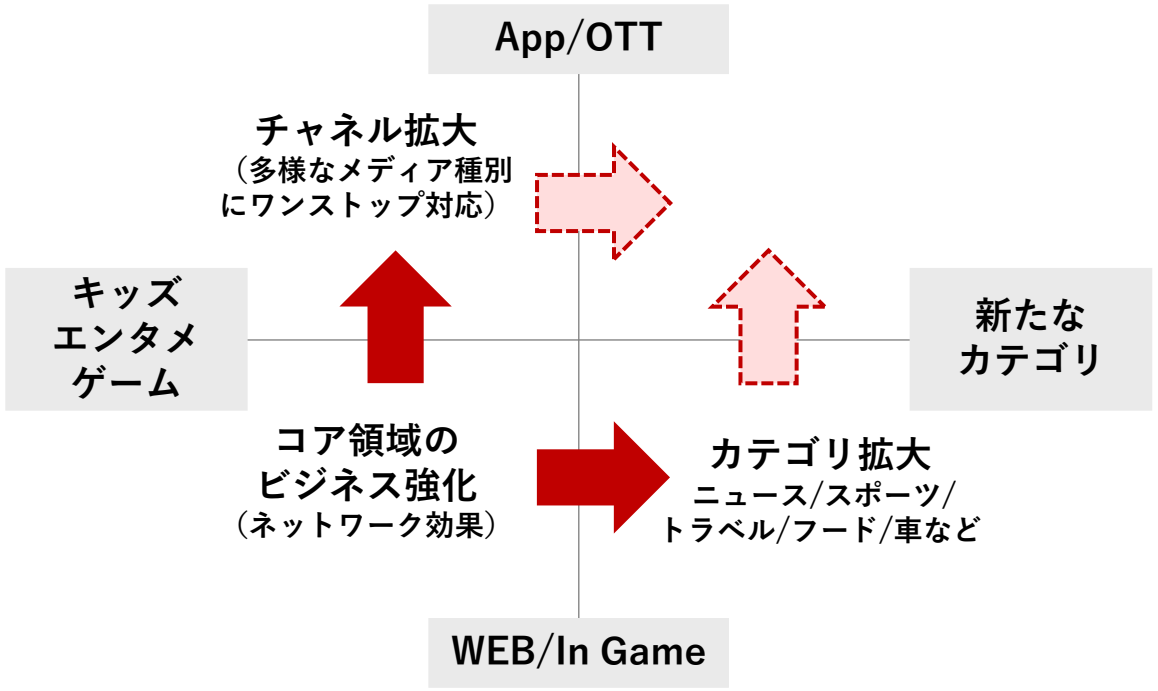
Kidoodle.TV

KiDoodLe tv
Safe Streaming™

キッズコンテンツ向けのOTT及びモバイルでのリーディングプラットフォーム。
家族向けのCTV広告で、Playwireとの協業を強化。

競争優位性と今後の成長戦略

- インテリジェントでハイブリッド（機械学習＋ヒト）な広告収益最大化プラットフォーム。
- メディアの増収実績の積み重ねによるネットワーク効果。広告枠の独占管理による安心・安全な広告の実現で、メディア・広告主双方から高い信頼を獲得。
- 得意領域（キッズ、エンタメ、ゲーム）で培ってきた強みを活かし、メディアカテゴリ（ニュース、スポーツ等）、チャネル（アプリ、OTT等）の両面で拡大を図る。



Appendix 1

会社概要

© FreakOut Holdings

会社概要

会社名	株式会社フリークアウト・ホールディングス			
設立	2010年10月1日			
資本金	28億1,833万円			
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木6-3-1　六本木ヒルズ　クロスポイント			
役員構成	代表取締役社長 Global CEO	本田 謙	取締役 （常勤監査等委員）	柳澤 文夫
	取締役 CFO	永井 秀輔	取締役 （監査等委員）	高田 祐史
	取締役 広告事業管掌	時吉 啓司	取締役 （監査等委員）	松橋 雅之
	取締役 海外グループ管掌	竹内 誠		
事業内容	グループ会社株式保有によるグループ経営戦略の策定・管理			
発行済株数	16,925,357株			
主要株主 ※	本田 謙			35.13%
	伊藤忠商事株式会社			16.75%
	YJ1号投資事業組合			3.37%
	BBH（LUX） FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND			3.16%
	株式会社日本カストディ銀行			3.05%

※2021年3月末時点の主要株主の状況を記載

© FreakOut Holdings

Appendix 2

業績補足資料

© FreakOut Holdings

連結売上原価（四半期会計期間）

（単位:百万円）

	FY21 2Q	FY20 2Q	前年Q比	FY21 1Q	直前Q比
変動費	5,160 75.7%	4,515 73.2%	14.3%	5,510 71.7%	▲6.4%
開発人件費	133 2.0%	130 2.1%	2.3%	129 1.7%	3.5%
サーバー関連費	94 1.4%	145 2.3%	▲34.8%	94 1.2%	0.2%
その他	0 0.0%	1 0.0%	▲88.7%	0 0.0%	▲71.5%
売上原価計	5,387 79.1%	4,791 77.7%	12.4%	5,733 74.6%	▲6.0%

※金額の下に記載している%は対売上高比

© FreakOut Holdings

連結販管費（四半期会計期間）

（単位:百万円）

	FY21 2Q	FY20 2Q	前年Q比	FY21 1Q	直前Q比
人件費	830 12.2%	840 13.6%	▲1.2%	927 12.1%	▲10.4%
家賃・水道光熱費	69 1.0%	112 1.8%	▲38.5%	86 1.1%	▲19.6%
のれん償却費	34 0.5%	41 0.7%	▲18.3%	33 0.4%	2.3%
減価償却費	60 0.9%	56 0.9%	6.2%	56 0.7%	5.9%
外注・報酬等	100 1.5%	121 2.0%	▲17.4%	101 1.3%	▲0.8%
採用費	19 0.3%	15 0.2%	24.5%	14 0.2%	31.2%
販売費	4 0.1%	9 0.1%	▲56.3%	10 0.1%	▲61.9%
その他	203 3.0%	212 3.4%	▲4.6%	182 2.4%	11.3%
販管費計	1,318 19.3%	1,407 22.8%	▲6.4%	1,409 18.3%	▲6.5%

※金額の下に記載している%は対売上高比

© FreakOut Holdings

質問等のお問い合わせ先

本資料の内容ならびに説明についてご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

経営企画室

電話番号（代表番号）：03-6721-1740

お問い合わせフォーム：https://www.fout.co.jp/contact/company/

© FreakOut Holdings

Give People Work That Requires A Person.